

# 漁海況情報

沖縄県水産海洋技術センター  
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528  
電話：098-852-4530・4531 FAX：098-852-4533

2021年(令和3年)10月 第587号

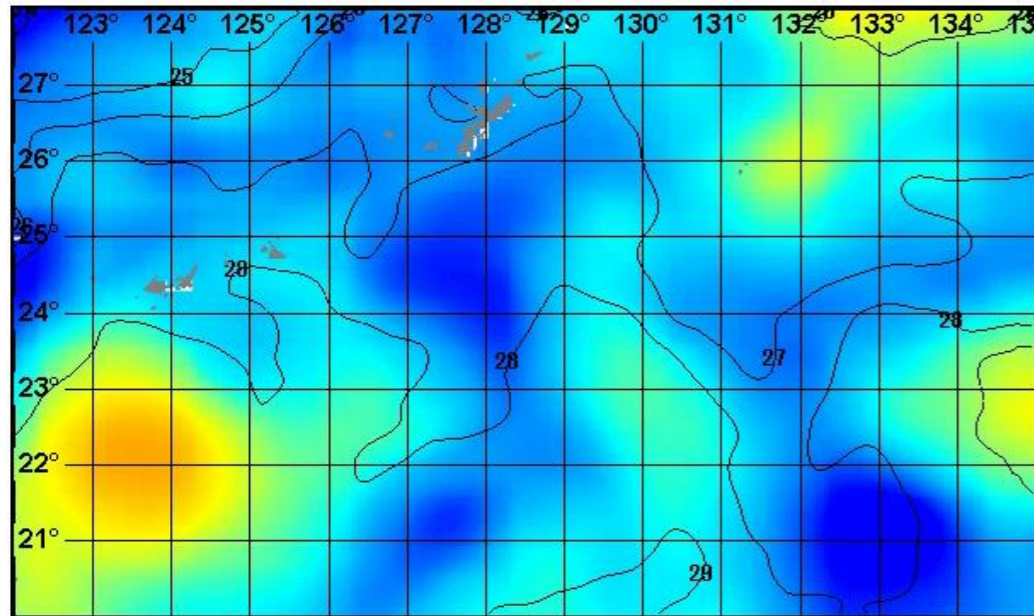
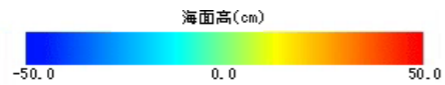


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2021年10月31日)

海況案内人の最新情報は下記URLでご覧いただけます。  
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>  
スマホ等からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

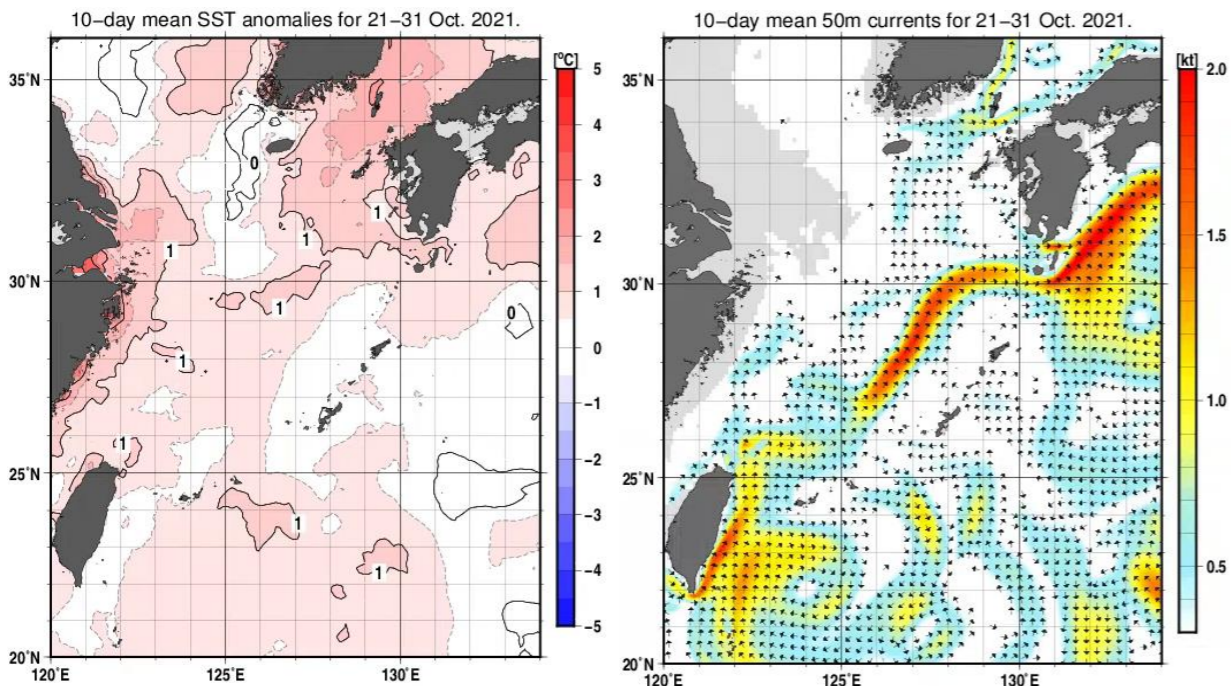


図2. 2021年10月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

## 漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域ではキハダ、伊良部ではシビとシイラの  
水揚げが多かった。

表1. 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量 (t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ 総漁獲量
シイラ	2.4	0.1	0.4	0.0	2.9	5.6	25.4
クカジキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サワラ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.9
カツオ	1.1	0.0	0.0	0.0	1.2	2.7	4.4
キハダ	20.7	1.0	2.6	0.6	24.9	2.1	125.0
シビ	0.9	0.0	0.3	0.0	1.3	19.1	26.6
メバチ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	25.2	1.1	3.4	0.7	30.5	29.4	182.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2. 6~11月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)  
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6-11計
2017年	30.6	34.9	24.1	26.1	16.0	16.7	148.4
2018年	19.1	48.6	47.9	43.8	21.2	20.3	200.9
2019年	30.6	88.9	51.1	32.9	47.3	23.3	274.1
2020年	72.7	83.3	65.7	54.8	25.0	11.7	313.2
2021年	35.6	61.5	40.7	62.1	24.9		224.8

表3. 6~11月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)  
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6-11計
2017年	13.8	6.3	12.9	14.1	5.6	5.0	57.8
2018年	9.8	9.6	6.8	12.4	13.3	4.1	56.0
2019年	8.3	14.2	10.5	6.4	8.6	5.5	53.4
2020年	15.8	8.8	2.3	7.5	4.5	3.2	42.1
2021年	6.3	4.6	10.6	10.4	1.3		33.2

表4. 6~11月のシイラ漁獲量(t)  
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	6-11計
2017年	1.9	0.1	0.4	2.5	1.4	3.9	10.2
2018年	0.9	0.2	0.6	1.4	7.0	3.8	13.8
2019年	2.1	0.4	0.4	1.8	6.9	10.4	21.9
2020年	0.8	0.2	0.3	2.7	6.9	2.9	13.9
2021年	1.0	0.2	0.5	1.3	2.9		5.9

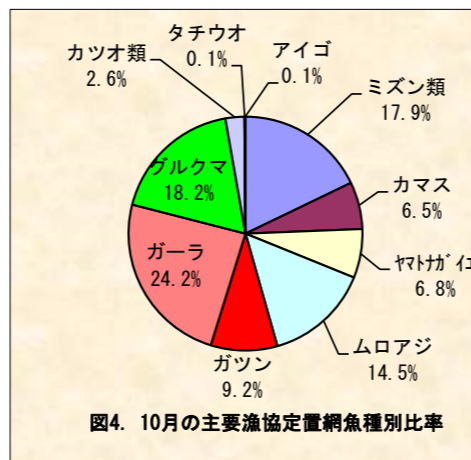


図4. 10月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：10月の全体の漁獲状況は5,686.2kgで、先月(8,660.0kg)と比べて減少した。主要漁協の漁獲ではガーラとグルクマ、ミズン類が全体の約6割を占めた(表5、図4)。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。



イシガキダイ(ガラサーミーバイ、石ダイ)

キハダが糸満で20.7t、港川で1.0t、知念で2.6t、沖縄市で0.6tが漁獲された。また伊良部では、シビが19.1t、シイラが5.6t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~11月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

10月のキハダの漁獲量は24.9tで、9月(62.1t)に比べて37.2t減少、昨年(25.0t)と比較し0.1t減少した(表2、図3)。シビの漁獲量は1.3tで、9月(10.4t)と比べて9.1t減少した(表3)。シイラの漁獲量は2.9tで9月(1.3t)と比べて1.6t増加した(表4)。

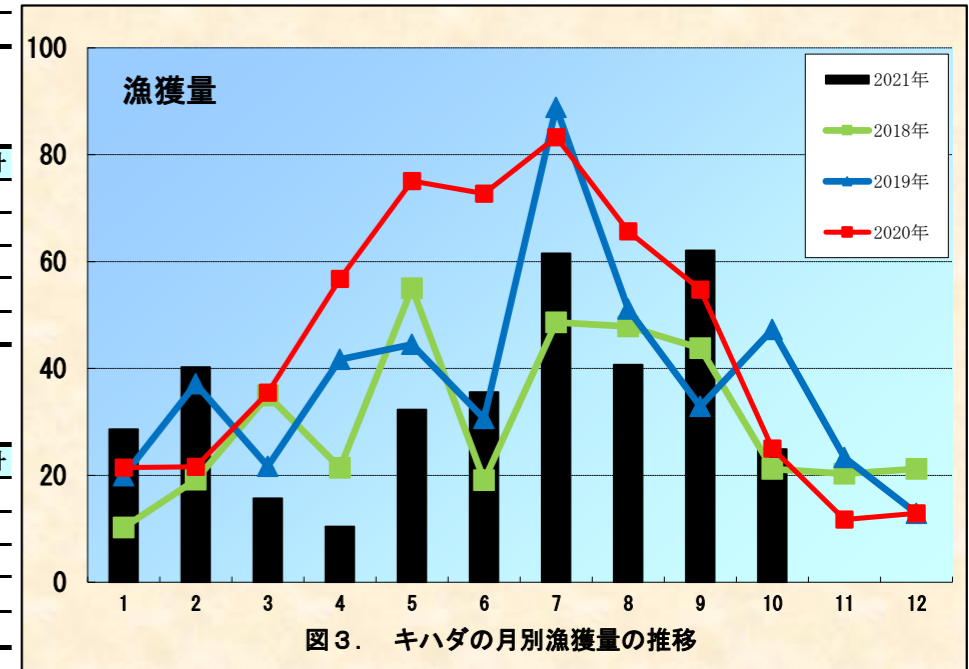


図3. キハダの月別漁獲量の推移

表5. 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置 総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	勝連	与那城		
ミズン類	101.0	0.0	5.0	887.9	0.0	15.0	1,008.9	1,008.9
カマス	344.6	1.5	10.0	11.9	0.0	0.0	368.0	369.1
ヤマトガイ	343.9	0.0	10.8	27.4	0.0	0.0	382.1	382.1
ムロアジ	716.5	0.0	14.2	87.2	0.0	0.0	817.9	817.9
ガツン	446.6	0.0	57.2	15.9	0.0	0.0	519.7	519.7
ガーラ	972.5	58.8	251.7	84.1	0.0	0.0	1,367.1	1,399.5
グルクマ	517.3	16.4	491.7	5.1	0.0	0.0	1,030.5	1,030.5
カツオ類	84.5	0.0	50.0	12.9	0.0	0.0	147.4	147.4
タチウオ	0.8	2.0	0.0	1.6	0.0	0.0	4.4	4.4
アイゴ	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	4.4	6.7
合計	3,527.7	80.9	890.6	1,136.2	0.0	15.0	5,650.4	5,686.2

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。